

今年もまた命にかかるような激暑、酷暑の夏がやってきましたね。どうか、どうか、ご自愛のうえ元気でこの夏を乗り切ってくださいね。

今日はお詫びの言葉からお便りを書き始めなければなりません。カトキン事務所はこの20年間、本多劇場、紀伊國屋ホールクラスの劇場では「最もチケット代が安く尚且つクオリティは高く！」を心がけて頑張ってまいりましたが、昨今の値上げラッシュに加えて、この秋からは、郵便料金まで値上げされる事となり、さすがに白旗を揚げざるをえない状況となりました。今後も舞台芸術の高みを目指してより一層の精進を続けてまいりますので、何卒ご容赦くださいますよう平身低頭お願い申し上げます。

そしてもう一つ、お芝居の開演時間のお知らせです。これまでには時間に間に合わないお客様のために、定時よりも少しだけ時間を遅らせて開演してまいりましたが、最近では殆どのお客様が「時間前に劇場に来ていらっしゃるよう」です。今回の演目からは定時での開演にさせていただきます。皆様にとって馴染みのない劇場での上演の場合は、手をとのぞき対処させていただきます。

さて、今回の演目は、ある一人の老医師をとり巻く、小さな町の医療従事者たちと、患者たちの姿を描いた内藤裕子の傑作ドラマです。内藤裕子さんは、読売演劇大賞優秀作品賞、紀伊國屋演劇賞、鶴屋南北戯曲賞等々、次々と賞に輝く、今もとも注目をあびる新進気鋭の劇作家です。愛と感動の医療ドラマにどうぞご期待ください。

今回は、新宿紀伊國屋ホールでの上演となります。どうぞお間違えのないようお気をつけください。

カトキン